

令和6年3月15日	
所 属	クリーンセンター
所属長	松浪 弘毅
電 話	06-6409-0101

新たなペットボトルのリサイクルを始めます。

現在、尼崎市内で収集された「びん缶ペットボトル」は資源リサイクルセンターで選別され、ペットボトルについては圧縮梱包後、公益財団法人容器包装リサイクル協会を通じて事業者売却され、繊維やシート等にリサイクルしていますが、これらから再びペットボトルを作ることはできません【ダウンサイクル】。

今回、新たなペットボトルのリサイクルとしてペットボトルからペットボトルへ再生する、ボトル to ボトル【水平リサイクル】の導入についてペットボトルを再資源化する企業及び飲料メーカーと協定を締結します。

また、ボトル to ボトルによりCO₂排出量が、石油からペットボトルを作るのに比べて約60%削減することになります。

本市では今後も持続可能な循環型社会の形成に向け、環境負荷の低減と限りある資源の有効活用を進めてまいります。

1 協定締結日

令和6年3月15日

2 引渡開始日

令和6年4月1日から

3 協定締結先

次の2社と本市で三者協定を締結します。

- 事業者名 : 遠東石塚^{えんとつういしづか}グリーンペット株式会社 (ペットボトル再資源化企業)
本社所在地 : 茨城県猿島郡境町大字下小橋宇蟬野880番地
代表者 : 代表取締役社長 安田^{やすだ} 真一^{しんいち}
- 事業者名 : サントリーホールディングス株式会社 (飲料メーカー)
本社所在地 : 東京都港区台場2丁目3-3
代表者 : 代表取締役社長 新浪^{にいなみ} 剛史^{たけし}

4 協定内容

本市は資源リサイクルセンターに搬入された「びん缶ペットボトル」からペットボトルを選別し、3の事業者³に年間搬出量の約半分の量を売却します。

3の事業者は次の事業を実施します。

- 本市が選別したペットボトルを購入します。
- 本市から購入したペットボトルから新たにペットボトルを製造します。
- ボトル to ボトルに係る持続可能な循環型社会の形成と環境負荷の低減に向けた啓発を行います。

以 上